

ワタ種子の輸入、栽培等に関する情報

1 . 輸入に関する状況

栽培用 ^(注1) (キログラム)					
年	H21	H22	H23	H24	H25
輸入量	361	525	235	437	80
食用又は飼料用 ^(注2) (万トン)					
年	H21	H22	H23	H24	H25
輸入量	11.06	11.55	11.30	11.57	10.72

栽培用は中国産、食用又は飼料用は豪州産が多い。

(注1) 農林水産省内調べ

(注2) 財務省貿易統計

2 . 国内外での栽培・取扱状況等

- ・ 米国、豪州、中国、インド等において、遺伝子組換えワタは広く一般に栽培されている。
- ・ 我が国では、20系統以上の遺伝子組換えワタの食品や飼料に利用すること^(注3)を目的とした輸入や運搬等が申請・承認されている。
- ・ ただし、栽培についてはこれまでに申請がなされていない。

(注3) ワタ種子は、食品としては、種子そのものではなく種子から搾られた油が利用されます。また、牛等の反すう動物用の飼料として、種子や搾油かすが利用されます。

3 . 我が国でのワタの栽培等に関する状況

- ・ 我が国では、ワタは工芸農作物として、地域振興の一環として栽培されている。
- ・ 栽培面積は、県からの聴き取り調査によれば、平成24年で約7 ha。
- ・ その他、一部では家庭園芸用、観賞用として栽培される場合もある。